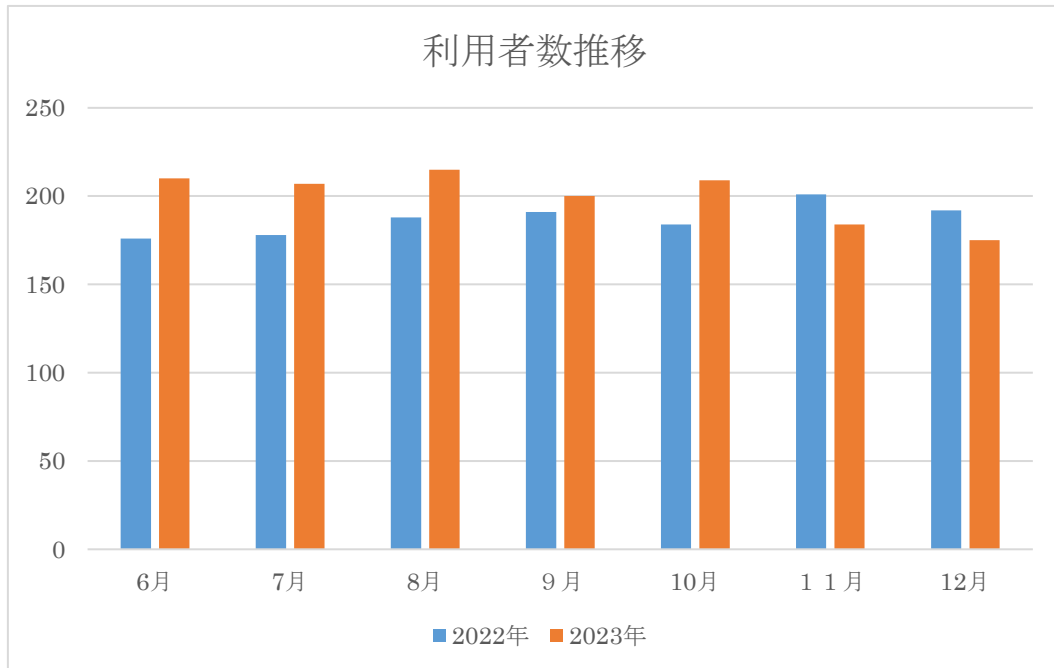


デイサービスゆいま〜る三口新町運営推進会議

2024年1月29日

参加者 利用者2名 ご家族2名 地域の方1名
地域包括支援センターみつくちしんまち
ゆいま〜る三口新町 2名

1. ゆいま〜るからの活動報告



利用者情報 (2023年12月現在)

利用者数 15人 (男性4名・女性11名)

最高齢 97歳 最若年 73歳 平均年齢 85.2歳 平均要介護度 2.5

送迎範囲 三口新町や小立野などの方以外にも 鈴見台 南御所 泉本町
新豎町 山科 などの方が通われている。

お迎え時間 8時30分から10時30分 お送り時間 13時半から17時00分

12月の主な外出先

吉野工芸の里 吉岡園地 白山比咩神社 河北潟 内灘町役場
邑智潟 高松道の駅 福光道の駅 など

スタッフ数 8名(正職員 4名 パート4名)

管理者 1 名 生活相談員 1 名 介護職員 5 名 機能訓練指導員 1 名(看護師)
管理者と介護職員 4 名は介護福祉士資格保有 生活相談員は社会福祉士
他介護支援専門員保有者 3 名 看護師 1 名 介護職員基礎研修修了者 1 名
看介護職員の勤務年数 10 年以上 3 名 5～10 年 2 名
1 年～5 年 3 名 1 年未満 0 名

12 月…一日平均利用者数 8.4 人に対し、一日平均スタッフ数 5.6 人

事故 ヒヤリハット(2023 年 6 月～2023 年 12 月まで)

転倒 2 件 飲み忘れ 2 件 怪我 4 件 切り傷 2 件

お一人で車から降りられ玄関まで歩かれる 1 件

服のポケットから内服薬を出されそのまま飲まれてしまった 1 件

苦情・要望

お送り時いつもと違う場所にカバン置いた為、その後ご家族が探してしまい
「探してしまうので、いつもの場所をお願いします」とご指摘があった。

市への報告はありませんでした。

地震による建物等の被害

室内の食器棚内の皿が床に落ちて割れた程度で大きな損傷はありませんでした。

防災対策

今回の震災で、あらため BCP(事業継続計画)の重要性が認識できたことから、策定を急ぐとともに、備品、災害時の連絡体制や安否確認の方法についてもしっかりと考えていきます。また建物は耐震工事が入っていても、家具等の固定についても見直していきます。

能登から金沢の親族のところに一時的避難してきたり、移住してきた人の利用受け入れについても積極的に行っていきます。

新型コロナウイルス感染予防

コロナについては家庭内感染をされた方が 1 名入院となったが、他の方への広がりはない。またスタッフの家族がインフルエンザに感染したこともあったが、スタッフ自身への感染はなかった。

ただ米泉ではスタッフ、利用者 6 名がコロナに感染し、日曜日を含めて 2 日半休業しています。幸い全員軽症で済みましたが、流行は始まっており、いつ出てもおかしくない状況であり、しっかりとした感染対策と早めの対応を行っていきます。

地域活動

引き続きオレンジカフェへの相談員や認知症サポーター養成講座の講師の派遣を行な

い、地域における認知症の理解や情報の提供を行っていきます。またホームページやブログなどもこれまで同様活用していきます。

ご本人には大きな変化はなくても、周囲の状況の変化で急に施設や病院にうつることになった方が続き、また今回の震災などでも、今日の日のかかわりの大切さ、時間の大切さを改めて強く感じる事となりました。これからも一日一日を大切にしながら、利用される方にとってもそれが大切な積み重ねとなるようなことを意識しながら、かかわり続けていきたいと考えています。

ゆいま〜の日常を動画で紹介させていただきました。(5分)

【参加者からのご意見】

利用者Aさん：楽しい〜嬉しくなる。

利用者Bさん：ここ来るまでは、まだまだだと思っていたけど、満足しとる。いいな〜って思っとる。気の休まる感じ楽〜にいつもの自分でおれるのが嬉しい。

ご家族M：両親が二人暮らしで妹と協力して介護している。家族は仕事をしていて決められた時間しかいてあげられない。父なんかは考える力も放棄してしまってるけど、ここでは色々お手伝わせてもらって、色々聞いてくれて、またそれに答えてくれてるんで、連絡帳見ると安心します。これからも二人でどれだけ生きれるかわかりませんが。

ご家族I：初めは、「絶対そんなとこ行きたくない」の一点張りだった。けど結構楽しかったみたいで、週1回から2回、3回と行くようになって今では楽しんで行っている。1番はお風呂に入れてもらえる事、一人暮らしで心配だし入れてなかったからありがたいと思っている。ここで食事も皆さんと楽しく食べれてるみたいだし、ここで栄養を摂ってもらえると嬉しい。

地域の方：いつも出入りしている様子を見ているけど、嫌がって来ている人はいないし、私は仕事を辞めてから主人と二人暮らしで、もともと出歩くことも好きじゃなく、だんだんと人と接することも少なくなっているんで、こうやって食事を作ったり、出歩いたりしている様子を見ると、大事だなーって思った。

地域包括センターみつくちしんまち

本当に楽しそうな雰囲気が伝わってきた！お元気の秘訣はこういった活動にあるんだなって感じました。

ドライブの映像が流れた時に、「なかなか自分たちで行けないですよ！（利用者

Bさん)」って言ってたのが凄く印象的で、最初はここに来るのは嫌って言ってたかもしれないけど、色々な気持ちがあったんだろうなーって感じながらも、ここに来れば外に出かけられる！皆さんと仲間と一緒に出かけられる刺激もあるんだなって印象的に思いました。

ゆいま〜る

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

通われている皆様から、楽しいとか満足しているという言葉が聞かれるのは本当にうれしいことで、またご家族から安心という言葉が聞くことができたことも私たちの力になります。

地域の方や地域包括支援センターの方がおっしゃるように、心が動くことはとても大切なことだと思っています、これからもいろいろなところに出かけたり、一緒に家事をはじめとしていろいろなことに取り組んでいきたいと思ひますし、また同時に、ご家族からのご意見にもあったように、気持ちよく、お風呂に入ってもらったり、おいしく楽しく、栄養的にも十分な食事をとっていただくことなどについても、これまで通りしっかりと取り組ませていただければと思っています。

皆様にはご多忙の中お集まりいただき、本当にありがとうございました。今後とも、ゆいま〜るをどうぞよろしくお願ひいたします。